

はあとふる

Vol. **7**
AUTUMN

Heartful 2002.10

地域の皆さまに、心 (Heart) と技術 (Hands) でヘルスケアサービスを提供するためのコミュニケーション誌



《訪問看護ステーション》
ハートパークはびきの活動
八尾はあとふる病院のチーム運営
地域リハビリテーション研修会報告
『地域でのより良いヘルスケアを目指して』
新連載 整形外科のまめ知識
『膝痛のはなし』

<訪問看護ステーション>

ハートパークはびきの活動

体温計、血圧計、聴診器、ゴム手袋とアルコール綿、
はあと&はんず(感性と技術)が私達の7つ道具



徳地谷マネジャーとの話や実際の活動

- 多少の医療が必要でも自宅で過ごしたい。そんな場合に当然、必要となってくるのは、入院の時と同じ、医師や看護師など医療スタッフからのケア。
- 良くなって退院したはずが、悪くなってまた入院。ちょっとした知識や、自宅でのケアができれば、たとえ病気が進行しても、気持ちよく自宅にいられるのに・・・と病棟の看護師だった徳地谷は思っていた。
- どのご家庭も「ものすごくそれぞれの個性を感じる」という。入院しているときには見えない、ご利用者ご自身だけでなく介護者の個性が浮き彫りになるのかも?
- ご本人やご家族とのいい関係ができるまでには、1年や2年はかかるという。押しつけでなく、望まれるケアをいいタイミングで提供するまでには、人間関係づくり(ご利用者とご家族と)の時間が必要ということだと思う。
- ご利用者のご自宅に行く途中で、地域のかかりつけ医のところにお邪魔して、物品の調達以外にもちょっとコミュニケーション。

介護者の方から

- 入院したら病院通いが面倒。「家ならテレビ見ながら世話できるし、しんどかったら放っておいて寝れるやん」と介護者である77歳の妻は言う。その反面「先日は、一晩中咳き込んで」と自分の睡眠不足の愚痴ではなく、夫の様子を心配する。かと思えば、飲まない時(水分補給)は「腹立つからおでこをパチンするねん」と笑う。
- 自分ではちょこちょこやってるつもりでも、きちんとできない。その点、定期的に看護師さんにきちんとしてもらえるのが助かるし、安心。冬場になって風邪などでお風呂に入れない時は、頭も洗ってもらえる。自分じゃできないからね。
- 訪問看護師とは、『～～して』と言いたいことを言える関係。だから何も要望も不満もないよ。

ハトパのある一日

AM

- 8:45 打ち合わせ/各スタッフの今日の予定などを確認
- 9:00 出勤
- 9:15 途中で〇〇さんのかかりつけ医の森クリニック経由で〇〇さん宅に到着/点滴をする
- 10:30 △△さん宅に到着/よくお話されて調子が良さそう。ガーゼ交換し、ご家族やかかりつけ医との連絡ノートに今日の様子を記入する。
- 11:40 羽曳野保健センターに情報提供書を提出
- 12:00 昼食のためステーションへ戻る

PM

- 1:20 □□さん宅に到着:今日は顔色がよく一安心。タンがからんでるので、吸引する。
- 2:00 ママさん宅では、かかりつけ医を受診した時にすすめられた検査について相談を受ける。内容について不明な事が多く不安そう。一つずつ説明をすると安心してもらえた。
- 3:00 ステーションに戻る。調子のよくない◇◇さんについて、全員でカンファレンスを行い、看護計画を見直し。
- 4:00 今日の訪問先の書類を整理、記録をする。
- 5:15 ◇◇さんより、ステーションに電話。明日、訪問することになる
- 6:00 〇〇さんから、緊急用携帯に電話。～～～で様子を見て、良くならないようであれば、再度電話するようお願いする。その後、◎◎さんのかかりつけ医にも電話で報告。
- 7:00 〇〇さんから電話はないが、緊急用携帯電話を持って帰宅。

地域のかかりつけ医との連携

クリニックの医師との話から



森 旦平 先生(森クリニック)

■ 訪問診療をはじめようと思われたきっかけは？

- 開業する前は、外科医として末期のガン患者をよく病棟で診ていた。治らない方に対して、病院では何もできなかった。その頃から、在宅でその人らしく過ごすことができるように支援したいという思いがあった。

■ ハートパークとの関わりで何かエピソードを

- ガン末期で、最後の2週間を自宅で看取りたい、という患者さんとご家族との短く、でも濃い関わりが印象的だった。短くてもよい関係を持つことが可能なんだ、と嬉しく思った。

(ハートパークより)

「最期を自宅で」とご本人もご家族も最初から覚悟されていたので、具体的に心臓や呼吸が止まったら…と話をすすめたことを、現実起こることとして、受け止め、実際に対応された。

■ ハートパークについて

- 24時間対応なのは、すごく安心で助かる。ご紹介した患者さんにも喜ばれてるよ。

■ 在宅ケアの今後について

- 在宅に携わる医師や看護師と知識を交換できるような場があれば。知識の啓蒙で、在宅ケアの質をあげたい。でも自分だけで多くの勉強会には行けないので、それぞれが学んだ事を交換しあえるシステムがあればいいなあ。



管理者から

病状の観察、処置、身体的ケアを提供するだけでなく、疾病や傷害を持たれている方々とそのご家族が、ご自宅でどのような生活を送り、またどのような最期を迎えたいかを共に話し合い、本当に求められるサービスを提供し続けたいと思います。

(マネジャー 徳地谷 直美)

Link Nurse System

島田病院の院内感染防止への取り組み⑥

リンクナースシステムの 具体的方法

感染管理担当 森下 幸子

くう き かん せん けいろ

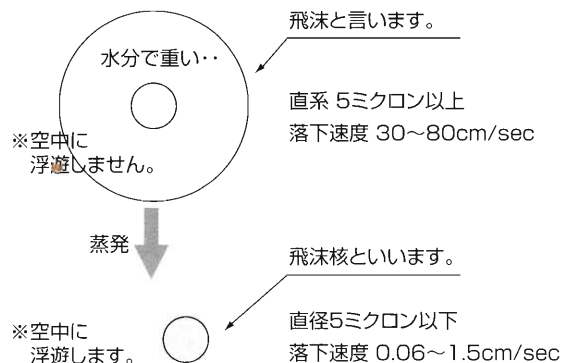
空気感染経路について

今回は、空気感染経路についてお話をさせていただきます。

前回ご紹介した「飛沫感染」と大きく違う点は、ばい菌が入っている飛沫が、気化して5ミクロン以下の大きさとなる飛沫核が空中を浮遊するという事です。

つまり、この方法でばい菌が運ばれると、空気の流れでまき散らされる危険性があります。結核、はしか、水ぼうそうが代表的な空気感染経路です。

当院の結核ガイドラインでは、患者様には、青いフィルターの付いたマスクを付けていただき、結核病棟からできるだけ外へ出ることのないように、ご協力をお願いしています。



また、結核病棟の職員には「N95マスク」という特別なマスクの装着を徹底。部屋・病棟全体の空気コントロールを行い、汚染空気が院内へ広がらないように管理しています。その他にも、職員の健康診断、ツベルクリン反応のモニタリングも行い、医療従事者が患者様へ感染させる事がないように取り決めをしています。

大阪は、結核罹患率が最も高い地域とされています。患者様にも定期的な健康診断をお奨めします。

今回は、八尾はあとふる病院の2チームをご紹介します。

リスクマネジメント委員会

『より安全な医療をめざして』

昨今、医療事故の話題が大きく取り上げられています。人の命を守る役割の医療機関で、人の命を危うくするような事故はあってはならない事です。

私たちは「医療事故防止のため、組織を上げて万全を期する」という強い意志をもって、職員ひとり一人が事故防止の必要性・重要性を認識し、日々業務に励んでおります。ただ昔より、「誤りは人の常」と言う言葉があるように、人間は完璧ではありません。

そこで個人では防止しきれない様々な問題を、個人だけの問題とせず、組織全体の問題としてとらえ、組織的・系統的に対策を講じるのが、このリスクマネジメント委員会です。

委員会は、院長を中心に各部の責任者で構成されています。特に、医療事故の起こる一歩手前“ヒヤリ・ハットの体験”(=インシデント)を、職員が積極的に報告することにより、個々の注意を喚起させています。また、その報告を集積し今後の医療事故の防止に役立てるため、定期的に委員会で対策を検討しています。

職員は、「八尾はあとふる病院における安全管理の指針」⁽¹⁾を遵守し、患者様が安心して医療を受けていただけるような環境作りを目指し、今後とも積極的な活動を行ってまいります。

八尾はあとふる病院

リスクマネジメント委員会 委員長 坂本 博和

平成14年10月の診療報酬改定で、全国の病院と有床診療所を対象に、「医療安全管理体制」と「褥瘡対策」の整備が義務づけられ、適切な対応ができない場合、入院料が減額されることになりました。

(1)「医療安全管理体制の整備基準」を満たしていない場合は、入院患者様1日あたり100円を入院料から減額。
具体的には…

- ①医療安全管理指針整備
 - ②医療事故等の院内報告制度整備
 - ③医療安全管理委員会開催
 - ④安全管理のための職員研修会開催
- …以上の4項目実施が義務化されました。

(2)「褥瘡対策の整備基準」を満たしていない場合は、入院患者様1日あたり50円を入院料から減額。
具体的には…

- ①褥瘡対策専任医師・看護師からなるチームが設置されている。
 - ②日常生活の自立度が低く褥瘡発生の危険性が高い入院患者様に、褥瘡対策に関する診療計画を作成・実施している。
 - ③患者様の状態に応じて、適切なマットレス等を選び、使用する体制が整っている。
- …以上の3項目の実施が義務化されました。

はあとふるグループでは、八尾はあとふる病院と島田病院が上記の整備基準に該当します。

スキンケアチーム

『チームで守ろう！ 患者様の皮膚』

「褥瘡(床ずれ)」と聞くと皆様はどのような印象を持たれますか？
「寝たきり」「不十分な看護」「治りにくい」「痛い」…などなど。
褥瘡が発生する要因とは？

- ①寝たきりによる長時間の皮膚への圧迫
- ②寝具や寝間着によるずれや摩擦
- ③皮膚のケア不足による汚染状態
- ④栄養状態の低下による血行不良

…などがあげられます。

今回、全国の病院に義務づけられた褥瘡対策基準は、これまで看護職の責任として考えられていた褥瘡予防が、病院全体のチーム(医師、薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士など)の責任であると明確になりました。私たちスキンケアチームとしては大変喜ばしいことであると同時に、積極的な取り組みを行っていきける追い風と捉えています。

できてしまった褥瘡は、治すための、時間、人、治療材料など経済的な口スばかりか、なによりも患者様の苦痛を増すこととなります。

(1)安全管理の指針(八尾はあとふる病院)

- 当院における医療事故を防止し、医療安全を確保するため、医療全体の質の向上を目指し、組織全体で取り組む。
- 職員は、日々の安全対策を怠りなく行うとともに、常に業務を改善し、リスクの高い分野に関しては優先的に取り組む。
- 患者様へ医療内容等に関し十分な情報提供と説明を行い、患者様の権利としての自己決定を行える環境を整備する。

ですから「褥瘡をつくらない」「予防」の見地からこのチームはとても重要な役割を担います。入院された時点から褥瘡ができる可能性を科学的に評価し、しっかり食べて栄養を整え、いつも皮膚を清潔に保ち、必要となればエアーマット等の使用により、効果的な予防策をチームで考え、実施します。

今後とも“患者様の皮膚はチームで守る!”をモットーに専門職の正確な知識と技術により、褥瘡の予防と発生後のケアに積極的に取り組みます。

八尾はあとふる病院

スキンケアチーム専任看護師 玉川道江



褥瘡予防マットレス

地域でのより良いヘルスケアを目指して

— リハビリテーションを担う施設と職種の連携 —

南河内圏域地域リハビリテーション研修会

日 時：平成14年9月24日(火)

場 所：藤井寺保健所

南河内圏域地域リハビリテーション連絡協議会会長
医療法人永広会 島田病院
理事長 島田永和

医療費の高騰、経済成長の低迷により財源確保が難しい状況の中、種々の制度改革が行われています。ヘルスケアも例外ではありません。ヘルスケアでは、「サービスの受け手である患者・家族」、「提供者である医療関係者」、「医療費の支払い側である保険者・患者」という三つの立場があります。医療者はいずれの立場にもなる存在です。どの立場にとっても納得できるシステムはないものでしょうか？

患者さんは「最高の医療」を求めます。しかし、支払い側はそれでは費用が持たないと考えるかもしれません。そこで「適正な医療」を設定しなければなりません。どのようなケアが適正と言えるのか、負担と給付のバランスを見いだす必要があります。それにはケアの客観的な評価が要ります。また、患者さんとしては自分の希望をはっきりとする姿勢が必要です。「お任せ医療」では、満足度も不十分で、効率も良くない可能性があります。

たとえば、患者さんの望む医師の姿を考えてみましょう。

- ・ 外来で優しく話を聞いてくれる。
- ・ 見落とすことなく、きちんと診断してくれる。
- ・ 痛い検査を上手に短時間に終わらせてくれる。
- ・ 難しい手術を見事にしてくれる。
- ・ 術後のリハビリテーションを指導してくれる。
- ・ これからの生活指導をきちんとしてくれる。

など、医者(医療者)に望んでいることはたくさんあります。これらのすべてを、一人の医師が行うことが可能でしょうか？一つの施設で手術もリハビリも介護も十分に行うことは、不可能です。だからこそ、急性期から回復期、維持期、終末期へと専門性のある良質のヘルスケアが提供できる連携システムが必要不可欠なのです。

それにより、地域の方々は、適切な場所でケアを受けられるので、安心して生活することができます。現在、この地域でこうした連携ができていますでしょうか？ 効率よく専門の診療が受けられるように整備されているのでしょうか？

理想的には、すべての国民が、いつでも、良質のヘルスケアを、住み慣れた地域で、受けることができるようなシステムが必要です。優れた地域ケアは、専門職種がチームとして動き、さらに、医療機関・ケア施設同士が連携し、それを関係機関・団体がサポートするという体制で初めて可能となります。一つひとつの要素が良質であり、そしてつながっていること、それが、これから求められる体制の基盤だと確信しています。

※この会の会長である、はあとふるグループ理事長の基調講演より抜粋。



第2回 看護部研究発表会

私たちのCAN



平成14年9月21日(土)第2回目の看護部研究発表会を八尾はあとふる病院で行いました。

これは、はあとふるグループ(島田病院・八尾はあとふる病院・悠々亭・在宅部門)の看護部職員による、各部署の看護活動をまとめ、発表する会です。今年のテーマは、日本看護協会の活動理念CAN『Creativeness: 創造的に行動し、Accountability: 責務を果たし、Network: 共に生きる』を基に、自分たちが日々行っている活動を発表するという意味で、「私たちのCAN」としました。

発表会の最後には、看護管理者研修を受講中のマネジャーより、看護研究につい

でのレクチャーもあり、昨年度よりもバージョンアップされたプログラムでした。

この会を通じ、各施設・部署で行われている、良い方法、質の高いケアを共有し、各部署で取り入れ、さらに利用者の皆様へのサービス向上に繋がるものにしていきたいと思えます。

(3連休の初日にもかかわらず、55名が参加しました。)

八尾はあとふる病院
看護部長 石神昌枝

読んで学ぼう

整形外科の まとめ知識 1

ひざ いた

膝痛のはなし

島田病院 院長 島田 永和

『膝の関節に水が貯まって医者に行ったら、注射器で抜かれた。でも、癖になるというから心配だ』と、よく聞きます。その水はどこから来るのでしょうか？ 抜くと癖になるのでしょうか？ 関節というのは、実にうまくできています。骨の表面は軟骨で覆われています。焼き鳥などでこりこりとおいしい、あの「ナンコツ」です。関節が動くとき、骨の端である軟骨同士が擦れ合います。この動きが抵抗なくできるように、関節の中は普段でも僅かに湿っています。つまり、少しの水がいつもあるのです。この水は、関節の袋である「滑膜」で作られます。古くなると同じ滑膜に吸収され、また新しく作られ、ほぼ同じだけの量に調節されます。

ところが、「炎症」が起き、関節炎となると、滑膜はたくさんの水を作りますが、吸収が追いつかず「水」が貯まり、関節が腫れるのです。つまり、炎症の結果が「水」です。では、どんなときに炎症が起きるのでしょうか。一番多い原因は、年を取って、徐々に軟骨がすり減ることです。この軟骨のすり減りは、誰にでも起こりますが、すべての方が痛いわけではありません。

それはなぜでしょうか？

私たち医師はレントゲン写真を前に、『あなたの膝は、関節の幅が狭くなってやる。これは軟骨がなくなってきたからや。それが痛みの原因やで』などと説明します。しかし、かなりすり減っていても平気な人もいます。鍵は、炎症が起こっているかどうかなのです。

軟骨の下には骨があり、軟骨がすり減り骨が露出すると、炎症を起こす物質が関節の中へ出やすくなります。それが問題なのです。変形した関節でも、炎症さえ起こさなければ、痛みもなく普通に使えます。炎症は、膝への負担や刺激をきっかけとして起こることがあります。例えば、負担の強い行動を突然することです。

そこで、負担に負けない強い関節を作ることが大切となります。膝の周囲の筋肉を鍛えるのです。余計な刺激は避け、体操を続けるという工夫によって、関節の痛みのために悩むことはかなり防げると思います。

では、この体操についてご紹介します。

島田病院
リハビリテーション科
理学療法士 山本 博之

膝の筋肉は、太ももの前にある筋肉と、後ろにある筋肉に大きく分けることができます。歩くときや運動をするときに大切な働きをするのは、主に太ももの前にある「大腿四頭筋」という筋肉です。膝を強くするにはこの筋肉の運動が中心となります。痛みの状態などにより方法は異なりますが、まずは体重をかけない状態で運動を行っていきます。筋力がつき痛みがなくなっても、調子の良い状態を保つためには適度な運動を継続していくことが大切です。

図①②ともに、ゆっくり10回を1セットで数セット、痛みのない範囲で行って下さい。▶



きくぞう君への投書から



ご意見(1)

今、いろんな企業、機関ではお客様第一主義のCSがとわれています。この度、娘が骨折しこの病院でお世話になる事となりましたが、手術の時間が予定より2時間もおくれました。(この病院では日常におこっている事だと思いますか?)1人の患者にとってその家族にとって一生に一回の経験になるかもしれない不安をもっています。「理由」「説明」が「的確」であれば何の不満ももたなかったと思います。こちらから何も言わなければ何も言ってくれない。これはちょっとした気くばりで解決するのではないかと思います。日常におこる事について、みんなで感性をもって考えてみてはどうでしょうか。この病院のスタッフならすぐに改善できるものと思ひ感じました。今以上の立派な病院をめざして下さい。(49歳 男性 ※原文のまま)

回答

島田病院
外来マネージャー 石塚麻利子

大変返事が遅くなり申し訳ございません。当日の手術予定を調べました。当院は、手術の予定をコンピューターで入力し、病棟は入力された予定時刻を患者様とご家族の方へ説明を行います。ところが、今回一端入力された後に、手術の予定時間の変更が必要となり、入力されている時間を変更しました。それを病棟へ連絡できていませんでした。大切な娘様の手術に対して、このような理由で、時間が変更されている事を説明できず本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。手術室では、緊急を要する出来事がおこる事がありますので、患者様への説明には大変気を配っております。手術は安全を最優先いたしますので、現実、時間通りでないのも事実です。しかし、ご指摘の感性についてですが、手術時間の遅れが当たり前と、私たちが絶対に思っていないことをお伝えいたします。貴重なご意見ありがとうございました。

「きくぞう君」はご利用者の声を業務の向上、施設改善に反映させるためのシステムです。ご意見・ご質問など、お気軽にお寄せください。

ご意見(2)

ケガをなおす事も大事ですが気持ちの持ち方が子供にとっても大切な事だと思います。〇〇先生、□□先生共に子供に対する言葉かけがプロであり、安心して手術、治療が受けられる事に感謝しております。不安をとりのぞく言葉かけ、処置が(ただがんばろうだけでなく)他の病院と違い、信頼されるところなのだなどとあらためて感じました。〇〇先生におかれましては、特に子供が前向きになれる助言を頂き、心より感謝致しております。

(17歳 男性の母 ※原文のまま)

回答

島田病院
院長 島田永和

ありがとうございます。このように評価していただき、ますますこれからの診療に励みとなります。当院では、傷んだ身体の部分的な修復をするだけではない診療を心がけております。病気やケガにより影響を受ける生活や人生そのものへのサポートを目標としています。しかし、これは容易なことではありません。まだまだ未成熟の点が多いと反省しております。お気づきになりました点などございましたら、これからも率直にお伝えいただけますよう、よろしく願いいたします。

家族交流会『なごみの会』



悠々亭の入所・ショートステイ・通所リハビリテーションを利用しながら、在宅で介護をしておられるご家族様同士の憩いの場として、3年前より家族交流会『なごみの会』を開催しています。この名称は、気軽にご参加いただき、その時間だけでもなごんでいただければと考えてつけました。

この会は、年4回(5月、8月、11月、2月)悠々亭のご利用者様が食べておられる昼食の試食会をかねています。初めて参加されるご家族の多くは、他のご家族、あるいはスタッフの話を聞くつもりで申し込まれますが、実際に参加されると、ざっくばらんな雰囲気も手伝って、次から次へと日頃は言葉にできない悩みや想いを語られます。「また来ます」と、笑顔で帰られることも。

参加されているご家族のほとんどは女性で、妻として、娘として、嫁として、それぞれ違う立場で介護を担っておられます。いろいろ話を聞いて『私だけじゃなかった』と、お互いに共感できることも多く、本音を話せることで、ストレス解消に役立っているとの声も聞かれます。

また、スタッフにとっても『なごみの会』は、ご家族のさまざまな想いを聞くことの出来る貴重な機会です。その想いを理解した上で、ご利用者の在宅支援を行っていく必要性を感じています。これからも、ご家族の晴れ晴れとした笑顔を見られるよう、より充実した交流会を企画していきたいと考えています。

医療相談員 齋当育子

はあとto ハート

インフォメーション

<使命>

良質のヘルスケアを
効率よく地域の人々に
提供し続けます

<職員憲章>

私たちは、その人が
その人らしく自分の人生を全うすることを
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

はあとふるグループは、個人の価値観を尊重し、
その人の「自立」や「その人らしく生きること」を支援する
ヘルスケアサービスを提供します。

ミニスポーツセミナー

主催/島田病院

●●●● 開催スケジュール ●●●●

1 腰痛予防と治療

平成14年10月19日(土)午後4時～
担当/島田病院 理学療法士 山本

2 テーピング

平成14年12月19日(木)午後6時30分～
担当/島田病院 理学療法士 羽戸

3 シューズ選びのポイント

平成15年2月15日(土)午後4時～
担当/未定

お問い合わせは — ☎0729-37-1511

家族介護者教室

主催/在宅介護支援センター悠々亭

●●●● 開催スケジュール ●●●●

1 みんなで囲碁ボールを楽しもう!

平成14年10月18日(金) 午後2時～3時
共催 高鷲南校区 雅び推進チーム
場所 高之羽荘園会館 (悠々亭から送迎バス有り/13:30発)

2 旅行に行こう!外出しよう!

平成14年11月28日(木) 午後2時～3時
講師 日本空輸(株) 奥谷氏 場所 悠々亭

3 室内で出来る簡単エクササイズ

平成14年12月20日(金) 午後2時～3時
担当/島田病院
はびきの健康プラザ「ウエルネス」トレーナー

お問い合わせは — ☎0729-53-1003

お知らせ

第9回スポーツ選手・指導者交流会

平成15年2月1日(土)
大阪市内にて開催決定 詳細は次号でご紹介します。

10月1日より健康保険法の一部が改正

老人の方の一部負担金が定額から定率となり、
従来は薬剤費を含め一定額内でしたが、
1割(高所得者は2割)の負担となりました。
同時に、長期入院の方の入院料の一部も実費
となります。これにより多くの方の負担が増える
見込みです。受診の際にはご注意ください。

地域リハビリテーション講習会

主催/島田病院(南河内圏域地域リハビリテーション支援センター)

●●●● 開催スケジュール ●●●●

1 失語症のリハビリテーション

平成14年11月20日(水) 午後3時～4時
担当/島田病院 言語聴覚士 吉田

2 脳卒中のリハビリテーション

平成15年2月22日(土) 午後3時～4時
担当/島田病院 作業療法士 阪口

お問い合わせは — ☎0729-52-1590



はあとふるグループ

医療法人(財団)永広会
島田病院 Tel.0729-53-1001
はびきの健康プラザ ウエルネス Tel.0729-37-1511
介護老人保健施設 悠々亭 Tel.0729-53-1002
在宅介護支援センター 悠々亭 Tel.0729-53-1003
ヘルパーステーション 悠々亭 Tel.0729-53-1062
介護サービスセンター ゆうゆう亭 Tel.0729-53-5514
訪問看護ステーション ハートパークはびきの Tel.0729-53-1004
〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山100-1
八尾はあとふる病院 Tel.0729-99-0725
介護サービスセンター はあとふる Tel.0729-99-8126
〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-1
社会福祉法人 はあとふる
高齢者生活福祉センター ゆうゆうハウス Tel.0729-31-1616
〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山96-10